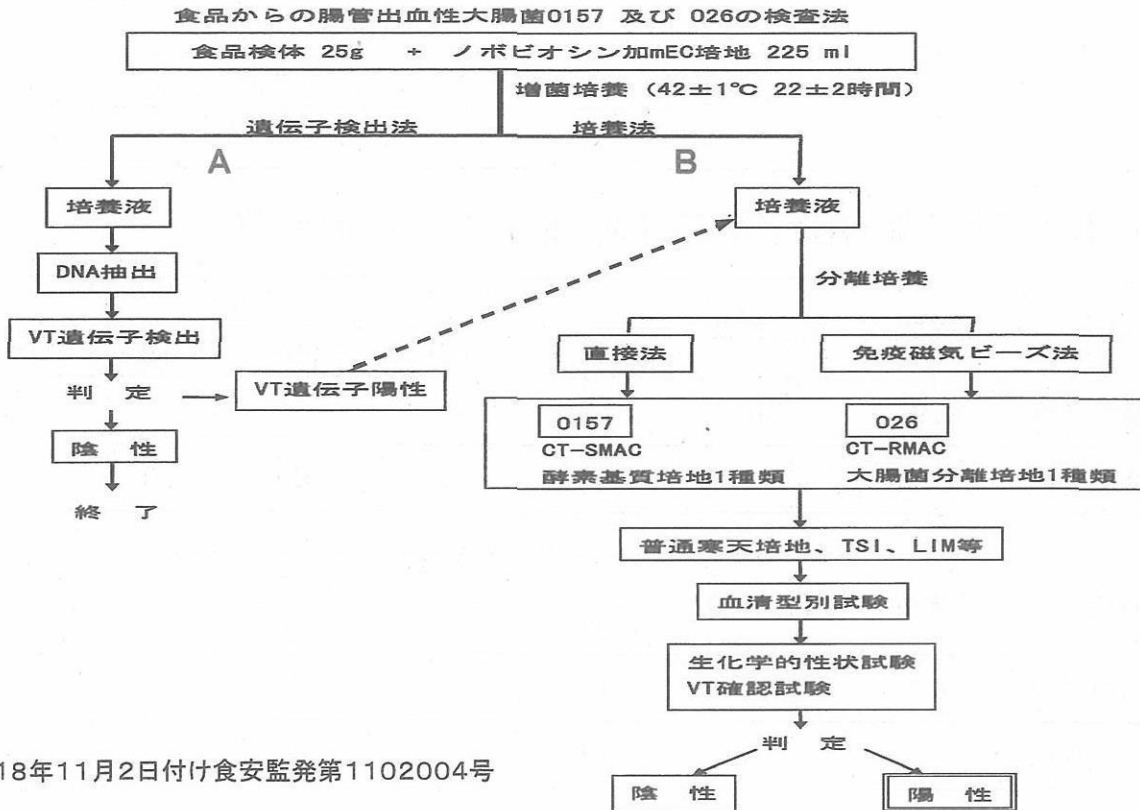


汚染実態調査

○ 検査方法フローチャート



平成18年11月2日付け食安監発第1102004号

汚染実態調査

○ 結果(腸管出血性大腸菌EHEC)

		糞便	胆汁	肝臓表面	肝臓内部
B 分離培養	検体数	173	186	193	173
	EHEC	20	0	13	3
	うちO157	11	0	5	2
A 遺伝子	検体数	127	154	168	146
	検出数(検出率)	58 (45.7%)	1 (0.6%)	37 (22.0%)	13 (8.9%)
	うちVT1	5	1	1	0
	うちVT2	30	0	12	5
	うちVT1 or 2	13	0	23	4
	うちVT1 & 2	10	0	1	4

VT: ベロ毒素

汚染実態調査

○ 結果(大腸菌)

実施機関	検体数	陽性数			
		糞便	胆汁	肝臓表面	肝臓内部
4	50	45	9	28	13

○ 追加試験結果(胆汁及び肝臓表面の大腸菌群数)

胆汁	検体数	検出件数	陽性数(/ml)				
			10以下	10 ²	10 ³	10 ⁴	10 ⁵ 以上
大腸菌群数	159	29	16	4	3	1	5
大腸菌数	41	4	1	0	0	0	3

肝臓表面	検体数	検出件数	陽性数(/cm ²)			
			10以下	10 ²	10 ³	10 ⁴
大腸菌群数	140	110	87	9	7	7
大腸菌数	43	36	27	3	4	2

牛胆汁における腸管出血性大腸菌の増殖性①

○ 調査概要

供試検体:牛胆汁

調査期間:平成23年9月下旬

○ 調査概要

採取した10頭分の牛胆嚢胆汁のうち菌未発育の6頭分の胆汁を用いて、以下の①、②の腸管出血性大腸菌の増殖試験を実施。

① プール胆汁における腸管出血性大腸菌の増殖態度

6頭分の胆汁全てを混合したプール胆汁に3種類の菌液(A、B、C)を接種し、37°Cで一晩培養。

② 胆汁の違いによる腸管出血性大腸菌の増殖態度

各胆汁(6頭分)に菌液Aを接種し、37°Cで一晩培養。

<増殖試験に用いた菌液>

菌液A:O157VT1&2、菌液B:O157VT2、菌液C:O26VT1